

令和4年度事業報告書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

【公益目的事業】

(1) 普及・啓発事業

イ) 骨粗鬆症に関する資材・資料の作成と配布

＜新規作成＞

- ①リーフレット「40歳からはじめる骨粗鬆症検診」
- ②ポスター・リーフレット「FRAXで向こう10年間の骨粗鬆症による骨折発生が予測できます」
配布 11,000部 ※日本宝くじ協会助成金
監修: 藤原佐枝子先生
- ③カルシウムチェック表(上西一弘先生)

ロ) ホームページ、SNSでの情報発信

- ①ホームページ
 - ・ホームページ閲覧数
ユーザー訪問数 84,000/月平均
ページビュー(Webページが閲覧された回数) 148,291/月平均
 - ・「病医院リスト」登録数 2,078件
 - ・トップページへのバナー広告掲載で運営費の確保(4社)
- ②You Tubeチャンネル
 - ・チャンネル登録者 502人
 - ・視聴回数 1.1万回/過去365日
- ③Twitter
 - ・95フォロワー

ハ) その他の情報発信

- 【動画】 精度よくDXAで骨量測定するためのeラーニング
- 【雑誌】 『OPJリエゾン』(ライフサイエンス出版) 編集協力

ニ) 骨粗鬆症に関する連携小委員会

- ・第2回骨粗鬆症に関する連携小委員会
2022年11月21日(月) 19:00～20:45
ZOOMによるオンライン会議
出席者: 塚原典子(委員長)
石橋英明、竹内靖博、藤原佐枝子、三浦雅一、吉村典子(委員) (敬称略、50音順)
骨粗鬆症財団 事務局(新井、柳川、吉野)
日本骨粗鬆症学会 事務局(川合、後藤)
- 【議題】
 1. 2023年日本骨粗鬆症学会シンポジウム(案)の検討
 2. 学会員へ向けたWODメッセージの発信
 3. WODポスターの活用について
- ・第24回日本骨粗鬆症学会シンポジウム8
骨粗鬆症財団・日本骨粗鬆症学会合同企画 「わが国におけるWOD活動 ～今後の展望～」
2022年9月3日 14:50～16:20 大阪国際会議場1003

座長：塚原典子、萩野浩(鳥取大学)

演者：藤原佐枝子(安田女子大学)、三浦雅一(北陸大学)、要田弥生(呉市福祉保健課)、
石橋英明(伊奈病院) 出演順

※骨粗鬆症マネージャー教育研究単位取得セミナー

ホ)世界骨粗鬆症デー・キャンペーン(WOD)

1. ポスターを配布(4,372部)

「Step up for Bone Health ～人生には生きがいと骨密度が大事です～」

自治体 1,753／病院・薬局 2,092／健康日本21メンバー 149 関連団体・会員等 378

2. JJOS誌 チラシ封入(10,500部)

Vol.8 No.4 2022「骨粗鬆症財団主催・共催 世界骨粗鬆症デー・ブルーライトアップ」

3. イベント

①「世界骨粗鬆症デー in 金沢 2022」(共催:金沢骨を守る会)

・骨量測定体験会・健康相談会

2022年8月2日～3日 金沢中央公民館彦三館 高砂大学校・大学院

参加者:170人

・健康フェアin 輪島(骨量測定体験会、酸素飽和度測定、ミニ講演会等)

2022年9月11日 輪島市ふれあい健康センター

参加者:80人

・「ストップ・ザ・骨粗鬆症」タペストリー展示

2022年9月30日～10月20日(JR金沢駅兼六園口もてなしドーム)

・金沢駅鼓門ブルーライトアップ(JR金沢駅兼六園口)

2022年10月17日～23日

・デジタルサイネージでの動画配信

2022年10月1日～20日(JR金沢駅 観光案内所、小松空港到着ロビー)

②「世界骨粗鬆症デー in 松本 2022」(共催:松本市、一般財団法人松本ヘルス・ラボ)

・ポスター掲示 100ヶ所／リーフレット配布 2,000枚(市関係の施設、主に図書館や公民館等)

・国宝松本城ブルーライトアップ(10月20日)

掘端にWOD説明パネルも併せて設置

・骨量測定体験会 ～あなたの骨をチェック！～

2022年10月20日 イオンモール松本・きらめきコート

参加者:164人

③「世界骨粗鬆症デー in 呉 2022」(共催:呉市・広島骨を守る会)

※呉市福祉保健課事業『ヘルスサポートくれ』推進事業団体

・大和ミュージアム戦艦陸奥、呉中央棧橋展望室、入船山記念館ブルーライトアップ(10月14日～23日)

・市民公開講座

2022年10月10日 新日本造機ホール(呉市役所1階)

・ブースイベント

骨密度測定と保健師による骨の健康相談、お薬相談、口腔ケア相談等

財団賛助会員によるブース展示(Jミルク、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、雪印メグミルク)

・参加者:講演会 202人、骨密度測定 132人、歯周疾患リスク 101人

・呉市公式キャラクター 呉氏財団バージョン

④「世界骨粗鬆症デー in さんむ 2022」(共催:山武市、さんむ医療センター)

- ・さんむ医療センターブルーライトアップ(10月20日)
- ・市民公開講座、骨量測定体験会、ブース展示(Jミルク、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、雪印メグミルク)、お絵かきワークショップなど
2022年10月16日 山武市成東文化会館のぎくプラザ
参加者:300人

⑤その他の共催

- ・豊島区 高齢者福祉課
10月7日 区広報番組「としま情報スクエア」特集WOD(出演:林泰史先生)
- ・千葉県骨粗鬆症マネージャー連絡協議会
10月14日 骨粗鬆症week in CHIBA 骨粗鬆症について家族で話そう!YouTubeライブ配信
- ・大阪市 健康推進部
10月20日 大阪市骨粗鬆症検診と同時開催WOD WODのぼり掲示、啓発資料の配布
おおさかすこやかPARTNER つうしん 第35号 掲載「パートナー団体 活動紹介」
- ・ブルーライトアップ
るもい健康の駅(留萌市)
城山公園三階檜台石垣(延岡市) :併せて「夕刊デイリー」に延岡市がWOD広告出稿
姫島クリニック、東京歯科大学市川総合病院、松戸市立総合医療センター、聖隷横浜病院

へ)骨量測定拡大キャンペーン 出張測定

- ・ポッカサッポロフード&ビバレッジ 社員健康診断
2022年6月13・20日 栄事業所/6月28日~7月1日 恵比寿事業所
測定者:769名
- ・松本ヘルス・ラボ 健康チェック会
2022年7月13~16日 松本総合体育館メインアリーナ、松本短期大学
測定者:135名
- ・&Well(三井不動産の健康経営支援サービス) ヘルシーフェスタ2022
2022年6月23日 日本橋室町三井タワー/24日 日比谷三井タワー/10月27日 豊洲
センタービルアネックス
測定者:300名
- ・浜松骨粗鬆症市民公開セミナー「健康なせぼねで元気な明日を」
2022年7月17日/2023年3月4日 アクトシティ浜松コンgresセンター
測定者:100名
- ・川口市保健所地域保健センター「輝く女性の健康講座」
2022年11月13日 イオンモール川口前川
測定者:30名
- ・豊島区高齢者福祉課 区制90周年記念「介護予防大作戦・生演奏でとしまる体操」
2022年9月13日 池袋西口公園グローバルリング
フレイルブース測定者:240名

ト)その他イベント等

- ・文京区ハッピーベジタブルフェスタ2022 参加
2022年8月31日~9月16日 Web+文京シビックセンター ハイブリッド方式
Web動画出展「骨の健康に必要な野菜シリーズ 第1弾 ビタミンK」
会場展示「ビタミンKの働き、必要量(推奨量)、食べ方のヒント、料理レシピ」
参加者:会場(9/16) 156名/Web(会期中) 3,015名

- ・第24回日本骨粗鬆症学会 ブース出展
2022年9月2日～4日 大阪国際会議場 企業展示コーナー
- ・Asahi Re-Bone Seminar in Osaka/in Tokyo 資料展示コーナー
2022年7月3日 帝国ホテル大阪/10月1日 虎ノ門ヒルズフォーラム
- ・文京区介護予防展 講演へのアドバイス
2023年3月3日 文京シビックセンター

チ)国際女性デー・女性の健康週間キャンペーン

- ・オンライン公開講座「お母さんのやせは次世代の生活習慣病のリスクを高めます」
2023年3月8日 Zoomセミナー
講師:福岡秀興氏(福島県立医科大学)
聴講者:209名
当日の動画は財団YouTubeチャンネルにて公開中
- ・文京区 WOMEN'S Health in BUNKYO ～わたしたちの健康について考えよう～
2023年3月8日 文京シビックセンター
パネル展示、啓発動画放映、骨量測定体験
来場者:260名
- ・大阪市 骨活マルシェ ～あなたのカラダと向き合う時間～
2023年3月3日 イオンモール鶴見緑地
大阪市骨粗鬆症検診と同時開催、地産野菜直売、アート体験イベント等
ブース出展(Jミルク、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、雪印メグミルク)
骨量測定者:50名

リ)地域骨を守る会の支援・連携

- ・各骨を守る会に助成金を支給
(10万円×8団体:兵庫、新潟、高齢者運動器、京滋、札幌、群馬、金沢、大阪ネットワーク)

ヌ)その他

①資料提供

【テレビ番組】

NHK総合「あしたが変わるトリセツショー」『骨のトリセツ』2022年5月19日
テレビ高知 テレビ市民公開講座『知って健康！骨粗しょう症のコト』2022年6月19日
ケーブルテレビ なるほど習志野 「骨粗しょう症予防について」2022年8月中
BSJapanext「健康になりたい、松本明子。」『人生100年時代への第一歩』2022年8月9日
青森放送「RABニュースレーダー」内 特集『短命県返上 QOL健診 ロコモ』2022年11月4日

【WEBサイト】

「Reライフ.net」連載「アンチエイジングの最前線」朝日新聞社
広島県立障害者リハビリテーションセンター「当院での二次骨折予防のための取り組み」
高松市 農林水産課
しずおか健康長寿財団 等

【刊行物・その他】

「毎日食育クイズ250」2022年7月刊行 少年写真新聞社
「月刊ナーシング」2022年8月号 学研メディカル秀潤社 「転倒予防チーム活動実践と予防策」
「通販生活」盛夏号他 カタログハウス コラム「あなたの骨、大丈夫？」
武儀医師会 在宅医療介護相談センター「ICSセンターたより」

千葉県東金市骨粗鬆症検診指導用紙(骨粗鬆症マネージャー 啓発用スライド) 等

②資料監修

- ・フジッコ季刊誌 ウェルネス倶楽部vol.11
「特集 知ることから始める気づきにくい骨粗鬆症」
- ・パルシステム東京 機関紙わいわい10月号
「骨貯金 ～骨は減っていくってほんと?～」
- ・朝日新聞購読者向け情報誌「スタイルアサヒ」2023年5月号
「まなびのトビラ ～骨の健康 見直そう～」

③厚生労働科学研究費補助金「骨粗鬆症の予防及び検診提供体制の整備のための研究」
オブザーバーとして班会議参加(2022年8月8日、2023年2月13日)

④日本医師会雑誌 2023年2月1日発行 第151巻・第11号
特集テーマ:「大腿骨近位部骨折患者における二次性骨折予防の実際」
【ひとくちメモ】骨粗鬆症財団と啓発活動 (塚原典子)

(2) 研究助成事業

- ・名称 令和5年度財団研究助成(アムジェン株式会社協賛)
- ・募集テーマ 【一般課題】骨粗鬆症に関する臨床研究
【指定課題】 下記の3つよりひとつ選択
 - ①医療データベース(NDBなど)を用いた骨折数に関する疫学研究
 - ②骨粗鬆症の予防、検診の普及に関する研究
 - ③骨粗鬆症の一次骨折予防に関する研究
- ・募集期間 令和4年8月1日～9月20日
- ・選考委員会 令和4年11月7日(月) 18:00～19:00 於 AP市ヶ谷 Eルーム
- ・選考委員 林 泰史(原宿リハビリテーション病院)
寺内公一(東京医科歯科大学大学院 茨城県地域産科婦人科学講座)
石島旨章(順天堂大学大学院 整形外科・運動器医学講座)
小川純人(東京大学大学院 老年病学)
- ・応募件数 計27題 (一般課題 13題/指定課題① 6題/指定課題② 8題)

助成金額:1件あたり100万円

	課 題	所 属	氏名(50音順)
一般課題			
1	骨粗鬆症性椎体骨折の罹患椎体高位による治療予後および発生機序の比較検討	京都大学大学院 医学研究科整形外科	清水 孝彬
2	歯周病は骨粗鬆症のリスクを増加させるか ―おぶセスタディ	松本歯科大学歯学部歯科放射線学講座	田口 明
3	大腿骨近位部の骨粗鬆症化はいかに進行するのか: QCT-Hip 3D mapping 法による解析	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 整形外科学	千葉 恒
指定課題①			
4	鳥取県における大腿骨近位部骨折の全数調査	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション科	尾崎 まり
5	全国医療・介護データベースを活用した大腿骨近位部骨折とそれによる要介護化をアウトカムとした骨粗鬆症治療薬の Real world effectiveness、並びにそれを左右する要因	あさひ総合病院 整形外科	中藤 真一
指定課題②			
6	ヒト骨代謝における骨細胞 osteocyte 上の血中 DMP1 と FGF-23 代謝の有用性の実証研究～骨粗鬆症健診への新たな情報還元を目指して～	静岡社会健康医学大学院 大学 社会健康医学研究科	栗山 長門
7	骨粗鬆症性椎体骨折の急性期に理学療法士による運動療法の介入は骨粗鬆症の進行を予防できるのか?	大阪公立大学医学部 医学科整形外科学教室	玉井 孝司
8	胸部単純レントゲン写真から骨密度を推定する人工知能の開発	大阪大学医学部 器官制御外科学整形外科	藤森 孝人
9	骨粗鬆症性椎体骨折発生に関わる危険因子の同定と早期診断システムの確立:住民検診縦断データでの解析	名古屋大学大学院 医学系研究科 整形外科学	町野 正明
10	骨粗鬆症検診は骨粗鬆症の有病・発生の低減に効果的か?地域住民コホートの7年追跡	東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター ロコモ予防学講座	吉村 典子

(3) 調査・研究事業

イ) 大腿骨近位部骨折患者全国調査
実施継続の検討

ロ) A-TOPデータの再利用研究: 高齢者における骨粗鬆症の病態の多様性について

Joint-02とJoint-03試験のデータを利用したエビデンスの構築: 各年齢階層別のベースラインデータの比較及び新規椎体骨折に与えるリスク因子の検討

※論文投稿

『Osteoporosis International』に投稿予定

“Elderly patients, aged ≥ 80 years may experience incident vertebral fractures despite bisphosphonate therapy”

※学会 ポスター発表

2023年6月13日 アジア/オセアニア国際老年学会議 IAGG-AOR 2023
15:30~16:30 パシフィコ横浜ノース(田中伸哉先生)

(4) 情報交換 & ロビー活動等

イ) IOF

・WODその他についての情報交換

ロ) 日本骨粗鬆症学会

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」改訂準備

ハ) 厚生労働省健康局

都道府県別「骨粗鬆症検診受診率」提出

ニ) 健康日本21推進全国連絡協議会

- ・第25回総会(2023年2月22日、AP新橋)
- ・令和4年度健康増進普及月間に対する協力
- ・健康日本21(第二次)最終評価報告書アンケート 回答
- ・協議会メーリングリストによる情報発信 : 2023-3-1 会員レター R4-32

【収益事業等】

イ) 著作権関連事業

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」等からの転載許諾対応

以上